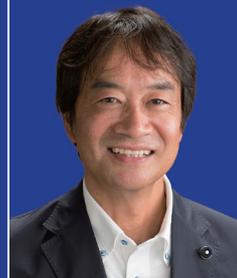


兵庫県  
議会議員

内藤 兵衛



一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。

県政NEWS No.40 2025.4

## 第370回定例県議会 一般質問に登壇

今年には阪神・淡路大震災から30年、戦後80年、昭和100年の節目の年です。ふるさと兵庫は日本の近代化を支え、戦後の高度経済成長、大震災からの創造的復興を多くの方々の支援を受け、絆を築きながら県民一丸となって成し遂げました。「人材」は「人材」とも書かれ、「財」は「たから」とも読めます。苦難に立ち向かい、明日に向かって果敢に挑戦してきた「県民」そのものが、兵庫県の誇るべき「たから」だと思います。

そして、平成から令和へと時代が移った今、地球規模で自然災害が相次ぎ、戦争や政治的な争いなど人々の心の分断に危機感を感じます。国内でも物価高騰が生活に影響をおよぼし、治安悪化も懸念されています。変化の激しい時代を迎え、住民ニーズも複雑多様化しており、いま一度、「県民」の声、その先に見える「命」に真正面から向き合う時です。そのことこそが、将来に対して夢や希望を与えることにはなるのではないのでしょうか。私たち議員は全県民の民意と向き合い、対話と協調のもと県政を前に進めなければなりません。



## 県民目線の政策議論に徹し、県政を前に

県民の期待に応える県政推進のため、令和7年度は極めて重要な一年になります。その指針・基盤となる令和7年度予算案を第370回2月定例議会で可決しました。2月28日には一般質問に立ちました。憲政の神様、尾崎弔堂は「議会なるものは言論を戦わし、事実と道理の有無を対照し、正邪曲直を明らかにし、もって国民の福利を計るが為に開くのである」と断じています。二元代表制の一翼を担う県議会として、県民の負託に全力で応えるべく、時に対峙しつつも、建設的かつ前向き闊達な政策議論を行い、積極的に政策を提言する、議会がまさしく言論の府と呼ぶにふさわしい場となる決意で、一般質問に臨みました。その概要を2～3面に掲載いたしましたのでご一読ください。

これからも人と人を繋ぐ誠実さをもって対話と現場主義に徹し、県民の思い、願いを県政に届け、県民だれもが故郷への誇りをもって、未来へと歩む兵庫の実現に全力を尽くす決意です。一層のご支援ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 令和7年度県当初予算 総額4兆5,150億円

福祉、教育、道路・公園の整備など、県の基本的な事業を行う一般会計は2兆3,582億円  
次の4つの柱で施策を展開します

誰も取り残さない安全安心な兵庫 若者が輝く兵庫 活力がわきあがる兵庫 県政運営基盤の構築



# 第370回2月定例県議会で一般質問

## 兵庫の成長・発展への道筋を示す

### 県政改革の更なる推進について

**内藤** 齋藤知事就任以降、令和4年3月に「県政改革方針」を策定し、様々な取組を進めてきた。令和6年度も地域整備事業、分収造林事業など県民生活への影響が大きい項目について県政改革特別委員会で議論を重ね、この度、道筋を示されたことは一定評価したい。しかし、財政状況は予断を許さない中、人口減少・少子高齢化、多発する災害等、課題が山積している。例えば、県民局・県民センター体制のあり方は、社会情勢の変化に伴い役割も変わってきている。そこで、持続可能な行財政基盤の確立に向けて、どのように県政改革を進めていこうと考えているのか、知事の所見を伺う。

**知事** 県政改革に終わりはなく、不断に取り組む必要がある。とりわけ、県民局・県民センターや公的施設等は県民に身近な存在だけに関心が高い分野の一つ。県政改革方針の柱であるビルドを重視しながら、県民サービスの効率的・効果的な提供の観点、県民や関係者への理解、財政への影響も見極めながら、バランスをとって進める。今後とも時代の変化や県民の要請に的確に対応できる財政基盤を追究し、躍動する兵庫の実現を目指す。

### 大学授業料無償化について

**内藤** 県が進めている「若者・Z世代応援パッケージ」のシンボリックな事業となる県立大学無償化は、若者が教育を受けやすくする効果が期待できる事業である。いわゆる将来への投資であり、政治や行政が真っ向から取り組むに値する大きな課題。教育機会の均等化は、本来、国が責任をもって取り組んでいくべき施策であるが、兵庫県が全国に一石を投じる取組でもある。無償化については様々な意見がある中においても、知事は前に進められようとしており、強い思いを抱かれていますと感じている。取り組む意義について改めて伺う。

**知事** 子どもたちが夢を持ち安心して将来を描くことができる道筋を兵庫からつくりたい。無償化の効果検証を様々な指標を用いて行い、県民理解が得られる説明責任をしっかりと果たす。

**内藤** 「兵庫は若者の背中を押していく、応援していく」強いメッセージを発信していただきたい。



若者の声を県政に届けます

### 令和7年度の産業労働政策について

**内藤** 県民の暮らしを支える大きな要素、それは産業である。だからこそ、誰もが希望を持って生き、一人ひとりの可能性が広がる「躍動する兵庫」の実現には、本県産業の成長と発展が不可欠。産業労働施策は極めて重要であり、経済成長や雇用創出、技術革新などを支えることで、それが持続可能な発展や、社会の安定にもつながるのではないかと。我が県には、きっとその可能性とポテンシャルがある。そこで、本県の持続可能な地域経済を確立するために、どのような意図をもって、令和7年度の産業労働施策を実施していくのか？

**産業労働部長** 成長産業の中でも本県が強みを有する水素や航空機などの分野で開発や人材育成、海外展開を支援する。万博や神戸空港の国際化で期待が高まる観光や対日投資に向け、兵庫の魅力をPRする。成長を確かなものとする中小企業の経営基盤の強化を支援するなど兵庫経済を前に進める。



航空機など成長産業の発展を兵庫経済の活性化に繋がります



### 地場産業の振興について

**内藤** 地域発展のカギを握っているのは地場産業の振興。県では大阪・関西万博に向けフィールドパビリオンをはじめとした五国の多彩な魅力を発信する様々な取組を進めてきた。地場産業にとっても魅力を発信し、産地へと新たな活力を呼び込む好機。また、産地の主体性を引き出す支援も重要。そこで万博を契機とした県内地場産業の振興や持続的な発展に向けてどのように支援していくのか？

**産業労働部長** 万博会場において地場製品の展示などを実施するとともに、播州織をはじめとする地場産業のフィールドパビリオン情報を発信し、県内への誘客を図る。また、県内商業施設で産地間コラボ商品の展示販売会を開催し、魅力を効果的に発信する。産地の将来像を自らが戦略的に考え、事業展開することが重要。その取り組み支援を展開する。



地場製品の展示販売会などで魅力を発信します

## 県政改革調査特別委員会が提言 負の遺産 整理に道筋 未来志向で解決

行財政全般にわたる改革を調査する県政改革調査特別委員会が報告書をまとめ、これを踏まえた県政改革方針案が第370回定例県議会で可決しました。昨年3月22日の設置以来、13回（現地調査含む）にわたり、企業庁の地域整備事業、ひょうご農林機構の分収造林事業、県庁再整備など県民生活に大きな影響が及ぶ6項目について、将来世代に負担を先送りせず、未来志向で解決に取り組むため調査・検討を行ってまいりました。

県政改革調査特別委員会での報告書等を踏まえた変更は次の通りです。

【地域整備事業】 地域整備事業の展開に区切りをつけ、企業債償還が完了し、分譲事業が概ね進捗する令和20年度を目途に会計の収束を目指す

播磨科学公園都市は、県、地元市町、有識者等による協議会において、新たな都市のあり方について検討

【分収造林事業】 現行の事業スキームによる分収



造林事業は事実上破綻しており、事業からの撤退後も引き続き分収林を適正管理するため、分収林契約から早期に新たな森林管理スキームに移行

【県庁舎再整備】 防災機能や働き方改革を志向した機能的でコンパクトな新庁舎整備に着手。元町地域全体の賑わいづくりを検討

### インフラ施設の維持管理

**内藤** 自然災害に強い社会の実現と持続的な経済成長を目指し、県では道路や河川などのインフラ整備を進めている。その機能を十分に発揮させるためには、適切な維持管理が必要。令和4年度から土木部の県単独事業費を20億円増額し、維持管理の強化に取り組んでいるが、地元要望はまだ多い。地域からのニーズが高い道路、河川の日常的な維持管理について、どのように取り組んでいくのか？

**技監** 必要な予算を確保したうえで、新たな工夫やデジタル技術を活用したDXを推進し、より効率的・効果的に取り組む。引き続き、財政的に有利な起債事業を活用し、日常的な維持管理に必要な県単独費の確保に努める。

令和7年度  
県当初予算

# 新たな躍動が広がる兵庫 次のステージへ

## I 誰も取り残さない安全安心な兵庫

### 1 防災・危機管理対策の充実・強化

- 災害用備蓄物資等管理・支援体制充実強化事業
- 能登半島地震を踏まえた避難所等生活環境改善事業
- 兵庫県感染症対策センター設置



子どもたちも参加する防災訓練などを通じて震災の経験・継承に繋がります

### 2 誰もが安心して暮らせる社会の構築

- 進化する犯罪への対応 ○自動録音装置普及事業(特殊詐欺対策)
- SNS誹謗中傷等の防止対策強化 ○不登校対策プロジェクト
- 県内スポーツ施設のユニバーサル対応研修会の実施
- 社会基盤の充実・強化 ○災害に強い県土づくり推進

## II 若者が輝く兵庫

### 1 「学びやすい兵庫」の実現

- 県立大学の授業料等無償化
- 私立高等学校等生徒授業料軽減補助
- 奨学金返済支援制度
- 県立高校ふるさと共創プロジェクト
- 教育投資の強化

### 2 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現

- 不妊治療先進医療費・通院交通費助成
- 保育所等における要支援児童等対策推進
- 県内大学と地元中小企業による小中学生向け授業

## III 活力がわきあがる兵庫

### 1 2025 大阪・関西万博の開催

- ひょうごフィールドパビリオン SDGs 体験型 地域プログラム磨き上げ事業

### 2 スポーツ・芸術文化の振興

- HYOGO スポーツコミッション(仮称) 設立準備

### 3 次世代産業の創出

### 4 産業競争力の強化

### 5 地域活力の創出

- 第三期地域創生戦略の推進

### 6 持続可能な農林水産業の実現

- ひょうご農村RMO 推進支援事業



万博期間中、ひょうご楽市楽座で魅力を発信

## 令和7年度 北播磨県民局 主要事業 ～進化と躍動をめざして～

### 北播磨の魅力創出による交流人口の拡大

- フィールドパビリオンを通じた地域づくりの推進
- 北播磨広域観光の誘客促進と魅力情報発信の強化
- 森林整備とSDGsの取組への理解促進



播州織体験ツアー

### 北播磨の強みを活かした「農」と「食」の創出

- 北播磨特産品産地化促進(黒田庄和牛、播州百日どり等)
- スマート農業等の次世代につなぐ取組の推進
- 安心して暮らせる活力ある地域の創出



ドローンの活用などスマート農業を推進

### 北播磨を支える人や交流基盤づくり

- 若者の北播磨企業への定着促進
- 中小企業等に対する支援
- 北播磨地域への移住・定住促進
- 市街化調整区域の土地利用促進



商店街等をPRするイベントの様子

### 誰もが安全安心に暮らせる北播磨の実現

- 地域防災力の機能強化
- 地域包括ケアシステムの推進(地域医療の連携及び推進)
- 危機管理への備え
- 安全・安心な基盤整備等の推進



防災ワークショップ